



## IBCLC再認定の準備

Prepare for Recertification (Japanese)

IBCLC再認定は、IBCLCが授乳と母乳育児のための最も信頼できる情報源であり続けることを一般の人々に保証するものです。IBCLC再認定の目的は、専門的な能力開発と生涯にわたる学習を通じて継続的な能力を促進することです。IBCLCは、資格を維持するために**5年**ごとに再認定を受ける必要があります。

再認定を受けるすべてのIBCLCは、5年間の再認定サイクルごとに**3つの要件**を満たす必要があります：

### 要件1：基礎的な救命措置教育

これを満たす教育の例は、心肺蘇生（CPR）および新生児蘇生プログラム（NRP）です。この要件を満たすには、基礎的な救命措置教育に関する講義またはオンラインコースの受講で十分です。対面ケアを行う医療従事者として、クライアントや患者の安全のために基礎的な救命措置教育を維持することが重要です。監査に選ばれたIBCLCは、基礎的な救命措置教育の証明としてカードまたは証明書を提出するよう求められます。

### 要件2：250時間のラクテーション・コンサルティング実習

臨床実習は、教育、管理、研究、臨床実習、またはアドボカシーの分野でフルタイムまたはパートタイムで実施することができます。これらの時間数は、ボランティアまたは有給の専門家として、または両方の組み合わせとして取得することができます。[ラクテーション特化臨床実習計算機](#)でこれらの時間の計算ができ、監査の際に提出することができます。

## 要件3：1つの再認定方法を選択し完了すること (IBCLC試験またはCERPによる再認定)

2022年に再認定予定のIBCLCからは、10年ごとに試験による再認定を受ける必要はありません。5年ごとの再認定サイクルには2つの選択肢があります：

### 選択肢1：試験による再認定



基礎的な救命措置教育  
を完了する



250時間の臨床実習を完  
了する



IBCLC試験の申し込み  
試験



IBCLC試験の受験

IBCLC試験は再認定の選択肢の1つとして存続しますが、必須ではなくなります。

IBCLC試験は、4月に英語で、9月にすべてのIBLCE対応言語で、1年に2回実施され、IBCLC詳細内容概要に記載されている分野での知識の応用をテストします。

IBCLC試験は175問の多岐選択問題で構成されています。試験は2つのパートに分かれており、パート1を完了すると、パート1に戻ることはできません。パート2では写真を見て答える問題がほとんどです。標準的なIBCLC試験の所要時間は4時間です。

イギリス英語が、IBCLC試験のすべての翻訳の基礎となります。測定単位に関しては、IBCLC試験には、メートル式の重量と測定単位、および米国式の重量と測定単位の両方が使用され、最も一般的な単位が最初に記載され、米国式の単位は2番目に括弧で囲まれて記載されます。例：30ml (1oz)。

### 選択肢2：継続教育の自己評価（CE自己評価）を含む継続教育 認定単位（CERP）による再認定



CE自己評価によって指導された継続教育は、IBCLCとして実務を行うために必要な包括的な知識とスキルを実証するのに役立ちます。IBCLCは、現在のIBCLC詳細内容概要に基づいてその能力を測定するために、CE自己評価を受ける必要があります。CE自己評価によって作成されたパーソナライズされた専門能力開発計画を使用して、IBCLCは75単位のCERPを完了する必要があります。

CE自己評価は、継続教育への「融合的アプローチ」を使用して内省を促すことを目的としています。これにより、能力を維持し、IBCLC詳細内容概要に記載されているトピックの専門的な基準に合わせて継続的に進化するというコミットメントのバランスが保たれます。また、IBCLCは、キャリアパス、実務環境、関心分野に固有の継続教育を柔軟に選択することができます。CE自己評価を完全に実施すると、必須CERPの約半数はCE自己評価で特定された改善が必要な分野に割り当てられ、残りのCERPはIBCLCが決定します。

CE自己評価は、パーソナライズされた専門能力開発計画を作成するために採用された72の複数選択の質問からなる、無料でリモートで実施されるコンピュータ・ベースの評価です。120分（2時間）の時間内で行う必要があります。CE自己評価は、5年間の再認定サイクル中に1回のみ行うことができます。

CE自己評価が完了すると、パーソナライズされた専門能力開発計画の形式ですぐにフィードバックが提供されます。この計画では、継続教育を重視する必要があるIBCLC詳細内容概要のトピック分野が示されます。

**IBCLCからのフィードバック結果に基づき、CE自己評価への移行計画を修正して、CE自己評価の要件を含むCERPによる再認定を明確にしました。再認定時期を迎えるIBCLCは、パーソナライズされた専門能力開発計画（PPDP）の結果に応じてCERPの最低単位数を取得することが求められます。**

- **2023年に再認定時期を迎えるIBCLCは:** PPDPで1つまたは複数の必須トピック分野が特定された場合、そのトピック分野ごとにCERPを3単位取得する必要があります。
- **2024年以降に再認定時期を迎えるIBCLCは:** PPDPで1つまたは複数の必須トピック分野が特定された場合、そのトピック分野ごとにCERPを5単位取得する必要があります。または、
- または、

- PDPで必須トピック分野が特定されなかった場合、自分のキャリアパス、実務環境、関心のある分野に基づいて、詳細内容概要（DCO）に沿ってCERPを取得することができます。

CERPによる再認定の予定のIBCLCの要件は以下のとおりです：



すべてのCERPは詳細内容概要に沿ったものであること

L-CERPS：ヒトの授乳と  
母乳保育

E-CERP：職業倫理と行  
動規範

R-CERP：IBCLCの実務に  
関係のある学習であり、  
L-CERPとE-CERPのいず  
れでもないもの

1単位のCERPとは、  
IBCLC詳細内容概要に記  
載されているテーマを対  
象とした60分間の教育単  
位です。

必要なすべてのCERPと再認定のためのすべての追加要件を完了した後、CERPによる再認定を申請し、申請期間中に料金を支払う必要があります。

監査に備えて、CE自己評価からのスコアレポートおよびCERPの完了証明を保管してください。

再認定のためにIBCLC試験を受験することを希望する場合は、既にCE自己評価を受けている場合でも、申請期限内に受験申請を行うことができます。

CE自己評価ダッシュボードの使用方法については[こちら](#)をご覧ください。